

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日 時:平成 26 年 11 月 18 日(火)

展開学級: 1 年 A 組(38 名)

展開場所: 被服室

授 業 者: 中村 聡未

1 題材名 身近な消費生活と環境 ～生活情報の活用と商品の価格～

2 題材について

[題材観]

消費社会の進展に伴い、中学生は様々な物質やサービスに囲まれている。特にインターネットや携帯電話などの情報通信サービスが身近に存在するなかで、自分自身で購入するかしないかの決断を迫られる場面が今後ますます増加することが予想される。生活に必要なものとは何か、それはどこから来て、どのように手元に届き、どのくらいの量をどのくらいの期間でどう使うのか、をきちんと知り、自分に必要なものを適切に判断していくことが大切になってくる。そこで、中学生の身近な消費行動を振り返らせることにより、消費の重要性に気付かせる。また、自分のための消費行動だけでなく、家庭や地域社会で主体的に行動する学習を通して、環境に配慮した買い物や消費による社会貢献など、社会とつながる意思決定ができる生徒を育みたいと考える。

[生徒観]

1 学年では、商品を選ぶとき、必要な情報を収集・整理した選択や購入がまだ考えられていない生徒もいるため、消費行動への関心・意欲を高めることを第一の目標とし、3年間を通した消費生活の学習の基盤作りをしたい。まずは、消費行動に理由づけをし、段階を踏んで意思決定をしていくことにより、消費行動の大切さに気付かせたい。また、そのために、商品からさまざまな情報を得られることに注目させたい。

[指導観]

個人や家族の利益を求める消費行動から、社会や国際的動向、未来を見つめた消費行動ができる生徒を育成する。そのために、生徒の発達段階に応じて、衣食住、家族の学習と関連づけた指導計画を立て、問題解決的な学習を適切に取り入れる。また、生徒の思考力・判断力・表現力を深めるために、学習ノートの工夫や話し合い活動を充実させ、よりよい意思決定ができるようにする。

3 題材の目標

自分や家族の消費生活や、物資・サービスの適切な選択に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任を考えた消費行動の意思決定について考え、これからの自分の消費行動を工夫する。

4 題材の評価規準

- ・自分や家族の消費生活について関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解している。
- ・販売方法の特徴について理解し、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
- ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践することができる。

5 指導計画

(1)本題材の指導と評価の計画(9時間扱い)

時間	学習内容	評価規準・評価方法	関	創	技	知
1 (1年)	○家庭生活と消費 商品購入のプロセス	・物資やサービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。【技】(学習ノート) ・買い物をするときの意思決定の流れを理解している。【知】(学習ノート)			○	○
2 本時 (1年)	○生活情報の活用 商品の価格	・商品購入時に必要な情報を分析しながら整理できる。【技】(学習ノート) ・商品購入時の情報の必要性を理解している。【知】(学習ノート)			○	○
3 (1年)	○消費者の権利と責任①	・消費者の権利や責任ある行動に関心をもって考えようとしている。【関】(学習ノート) ・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。【知】(学習ノート)	○			○
4 (1年)	○環境に配慮した生活	・意見交換しながら、環境に配慮した生活をどのようにすればよいかを考えている。【関】(ノート・話し合いの様子) ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。【知】(学習ノート)	○			○
5 (2年)	○持続可能な社会に向けて①	・自分や家族の消費生活を点検し、環境に配慮した消費生活について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。【工】(報告書・発表・学習ノート) ・環境に配慮した消費生活に関する知識を身につけている。【知】(発表・挙手)		○		○
6 (3年)	○販売方法と支払い方法	・身近な販売方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。【関】(学習ノート) ・中学生の関わりの深い販売方法の特徴についてわかる。【知】(学習ノート・発表)	○			○
7 (3年)	○消費生活のトラブルを防ごう	・消費生活のトラブルについて積極的に解決しようとしている。【関】(学習ノート) ・消費者を支える機関と法律について理解している。	○			○

		【知】(学習ノート)				
8 (3年)	○消費者の権利と責任②	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の責任を果たす視点で、自分や家族の消費生活のあり方を改善しようとしている。【関】(学習ノート・発表) ・基本的な権利と責任について理解している。【知】(話し合いの様子・発表) 	○			○
9 (3年)	○持続可能な社会に向けて②	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活について関心をもち消費生活のあり方について改善しようとしている。【関】(学習ノート) ・自分や家族の消費生活について関心をもち実践を通して自分なりに工夫し、改善しようとしている。消費や環境に配慮した生活を改善しようとしている。【工】(学習ノート・発表) 	○	○		

(2)学習のつながり

	前 時	本 時	次 時
学習目標	物資・サービスの選択、購入及び活用についての意思決定の流れがわかる。	商品選択の情報源を知り、価格の決まり方や表示・マークが示している内容がわかる。	消費者の権利と責任について理解する。
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物資、サービスについて知る。 ・ハムを教材とし、意思決定の流れに沿って買い物体験をし、適切な買い物の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッコリーとひき肉から読み取れる情報を収集し、整理する。 ・商品から読み取れる情報を整理し、自分なりの考え方で、購入する商品を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の8つの権利と5つの責任について知る。 ・班でロールプレイングをし、シナリオの消費行動の問題点、問題発見後の行動を考える。

6 本時の指導 (2 / 9 時間)

(1)小題材名

生活情報の活用と商品の価格

(2)本時の目標

商品選択の情報源を知り、価格の決まり方や表示・マークが示している内容がわかる。

(3)本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解
おおむね 満足			商品購入時に必要な情報を分析しながら整理できる。	商品購入時の情報の必要性を理解している。

(4)本時の展開

2 / 9 時間

学習過程	時配	学習活動	教師の指導と支援	●評価(方法) ・資料
課題をつかむ	3	<p>○前時の学習内容の確認</p> <p>○本時の学習内容の確認</p>	<p>・商品購入のプロセスを確認する。</p> <p>・調理実習で作るハンバーグの材料を教材とし、興味関心を持たせる。</p>	<p>・商品購入のプロセスの掲示物</p> <p>・学習ノート</p>
		<p>商品を購入するときどのような生活情報を読み取ればよいのだろうか</p>		
追究する	22	<p>○2種類の豚ひき肉の産地と価格を表示から読み取る。</p> <p>白地図にシールを貼り、産地を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【食材から読み取れる情報】</p> <p>ひき肉 A 鹿児島産</p> <p>ひき肉 B アメリカ産</p> </div> <p>・完成した白地図を見て、気づいたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【予想される生徒の意見】</p> <p>・鹿児島産の方が高い。</p> <p>・アメリカ産の方が安い。</p> </div> <p>○フードマイレージについて知る。</p> <p>○4種類のブロッコリーの産地、値段、マーク、栽培方法、加工方法を学習ノートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【食材から読み取れる情報】</p> <p>ブロッコリーA 国産</p> <p>ブロッコリーB アメリカ産</p> <p>ブロッコリーC 冷凍</p> <p>ブロッコリーD 国産 有機栽培</p> </div>	<p>・産地に注目させるため、調理実習に使う食材の中から、豚ひき肉に限定する。</p> <p>・白地図に産地を記入することにより、産地と価格の関係に気づかせる。</p> <p>・机間指導をしながら、場所がわからない生徒に、鹿児島とアメリカの場所を確認する。</p> <p>・フードマイレージについて説明し、環境への配慮を考えると、輸送距離が短い方が環境に良いことに気づかせる。</p> <p>・ひき肉での作業を参考に、自分で情報収集をさせる。</p> <p>・マークは教科書 P214,215 を参考に名称を書くように助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【読み取らせたいこと】</p> <p>価格、産地、マーク、表示栽培方法、加工方法</p> </div>	<p>・ひき肉の写真</p> <p>・白地図、シール</p> <p>・フードマイレージ資料</p> <p>・ブロッコリーの写真</p> <p>・教科書 P214,215</p> <p>●商品購入時に必要な情報を分析しながら整理できる。【技】 (学習ノートの記述)</p>

		<p>○情報収集をして気づいたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ産の方が安い。 ・冷凍の方が安い。 ・栽培方法によって、価格が違う。 </div> <p>○得られた情報から、同じブロッコリーでもなぜ価格が違うのかを班で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外では大量生産されるので、価格が安くなる。 ・有機栽培など特別な方法で栽培される分高くなる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表をまとめながら、産地や栽培方法、加工方法の違いによって、価格が違うことに気づかせる。 ・机間指導をし、生産や販売にかかわる人の賃金、生産規模や収穫量の違いによる効率性、流通にかかる費用や生産方法が、価格に反映されることに気づかせる。 ・意見が出てこない班には、教科書 P213 を参考にするように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P213
深める	20	<p>○どのひき肉やブロッコリーを選ぶかを考え、選んだものとその理由を学習ノートにまとめる。</p> <p>○選んだものと理由を発表する。</p> <p>○情報収集をして、食品を選択した感想を、学習ノートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取った情報を参考に、ひき肉とブロッコリーを選択させる。 ・意見を聞き、さまざまな選び方があることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●商品購入時に情報の必要性を理解している。【知】(学習ノートの記述・発表)
まとめる	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どのような生活情報を読み取ればよいかわかったか</p> </div> <p>○感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安いものを選ぶだけでなく、安全性や環境への配慮など、なぜ価格が違うのかを考えて、自分の生活の仕方に合わせて購入することが大切であることに気づかせる。 	

(3)本時の評価

- ①商品購入時に必要な情報を分析しながら整理することができたか。【技能】
- ②商品購入時に情報の必要性を理解することができたか。【知識・理解】